

清流の息吹を訪ねて
盛夏のアユ（初編）

このコーナーは、市内山ノ内での釣りに関するアドバイスなどを行う(株)フィッシュナビの代表で、「魚の専門家」の八鳥洋二さんからご寄稿いただいています。

7～8月になると、神戸川のアユが侵入しようもの戸川のアユ達はすっかりなら、排除すべく執拗に大人になり、2つの大きな変化が表れます。

初夏の観察では、清流の水辺を踊る若アユ達にフォークスを当てておりましたが、それが盛夏になると、成長した個々の縄張り争いに目がいくようになります。

まず1つは、アユの性格。餌場となる苔岩に自分の縄張りを持つようになり目立ち、全体的にも美しい色調になります。

このように季節とアユの成長に応じて、観察ポイントや撮影テーマが大きく変わっていくことがあります。アユを語るにはそれだけ「夏」という季節は重要であって、「夏なしにアユは語れない！」と言っても決して過言ではありません。炎



苔岩で激しい縄張り争いを繰り広げるアユ達

天のもとで繰り広げられるアクロバットな水中戦は見ものです。ただし熱中症対策は十分に。